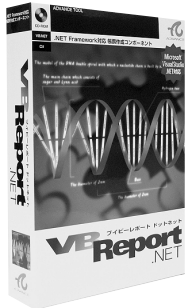


NEW

Visual Studio.NET/.NET Framework関連ツール新製品レビュー

PRODUCTS



VB-Report .NET

Excelをデザイナーとして利用できる.NET Framework対応帳票作成ツール



せきぐち くみこ

問
合
先

アドバンスソフトウェア株式会社

TEL : 0776-21-9008

URL : <http://www.adv.co.jp/>

FAX : 0776-21-9022

MAIL : info@adv.co.jp

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:
Excel 2000

Environment

ターゲットOS
Windows 2000 (SP3以上) /XP

対応開発環境
Visual Studio .NET 2002^{*)}/2003
(VB.NET/C#)

Excel 97/2000/2002/2003

^{*)} .NET Framework 1.0 SP2以上。

価格

パッケージ版 : 71,400円

ダウンロード版 : 55,029円

^{*)} パッケージ版にはVB-Report Ver3.0 (ActiveX版) が同梱されています (ダウンロード版には同梱されていません)。

Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥NEWPROディレクトリに収録しています。

¥VBREPO406A

既定のプレビュー画面を利用するサンプル

¥VBREPO406B

独自のプレビュー画面を作成するサンプル

^{*)} サンプルを動作させるには、VB-Report .NET製品または体験版がサンプルの動作環境にインストールされている必要があります。体験版は、<http://www.adv.co.jp/>からダウンロードできます。

はじめに

業務システムにおいて帳票作成は欠かせない機能です。たとえば、販売管理システムを考えてみましょう。顧客に送付するものだけを考えていても、見積書、請求書、納品書などが挙げられます。そのほかにも、内部的に使用する得意先や商品、担当者別の一覧表など、実にたくさんの帳票が必要です。

多種多様な帳票に柔軟に対応できる帳票作成支援ツールは、帳票作成の強い味方となってくれます。しかし、一般的な帳票作成支援ツールは、帳票デザインに独自のデザイナー機能を使うため、使いこなすまでに時間がかかります。

今回紹介するアドバンスソフトウェア株式会社の「VB-Report .NET」は、.NET Frameworkに対応した帳票作成ツールです。ツール独自のデザイナー機能はなく、帳票デザインをExcelで行ないます。一般的な帳票作成支援ツールとはひと味違う、即戦力となる製品です。

VB-Report .NETの特徴

VB-Report .NETは、VB.NETおよびC#から利用できる帳票作成ツールで

す。基本的に、Excelで作成した帳票レイアウトに対し、プログラム上から値を流し込んで帳票を作成してゆきます。Excelの多彩な装飾機能のほとんどを利用できるので (表1)、見栄えの良い帳票が効率よく作成できます。使用できるExcelのオートシェイプは図1のとおりです。

まず、“帳票レイアウトにExcelが使える”という便利さが目につきますが、VB-Report .NETの利点はそれだけではありません。中でも特筆すべき、3つの特徴を挙げてみましょう。

特徴1 ▶ 結果を印刷/プレビュー/

Excelファイルに保存

実行環境にExcelがインストールされて

図1：使用できるオートシェイプ



表1：帳票デザイン時に使用可能なExcelの修飾機能

修飾機能	設定できる内容
表示形式	カンマ区切り、通貨、小数点桁指定、負数、パーセンテージ、指数、分数、日付、時刻、ユーザー定義
セル書式	横位置 標準、左詰め、中央揃え、右詰め、両端揃え、選択範囲内で中央、均等割付
	縦位置 上詰め、中央揃え、下詰め、両端揃え、均等割付、セルを結合する、縦書き、-90度~90度、折り返して全体を表示する、縮小して全体を表示する
セル	高さ、幅、セルパターン、色、表示する/表示しない
フォント	フォント名、フォントスタイル、フォントサイズ、下線、フォントの色、文字飾り
罫線	上、下、左、右、左上がり、右上がり、線種13種、色
ページ余白	上、下、左、右、ヘッダー、フッタ、ページ中央（水平、垂直）
ヘッダー/フッタ	配置（左詰め、中央揃え、右詰め）、日付、時刻、フォント（フォント名、フォントサイズ、上付き文字、文字装飾ほか）、シート見出し名、ページ番号、総ページ数
印刷	印刷向き、拡大縮小印刷など
その他	グラフ、オートシェイプ（基本図形の一部、直線、矢印、四角形、楕円、テキストボックス、縦書きテキストボックス）

いなくても、帳票結果の印刷/プレビューが可能です。実行環境にExcelがインストールされている場合は、帳票結果をExcelファイルに保存することもできます。

特徴2▶ プログラム中からのレイアウト変更が容易

読み込んだデザインファイル（帳票デザイン用に設計したExcelファイル）に対するセル操作メソッドが豊富に用意されているため、プログラム上でのレイアウト修正を簡単に行なうことができます。タイトルを「納品書」から「請求書」に変更するだけの単純な修正から、明細行が可変の帳票作成まで、容易に対応できます。

特徴3▶ カスタマイズ可能なプレビュー画面

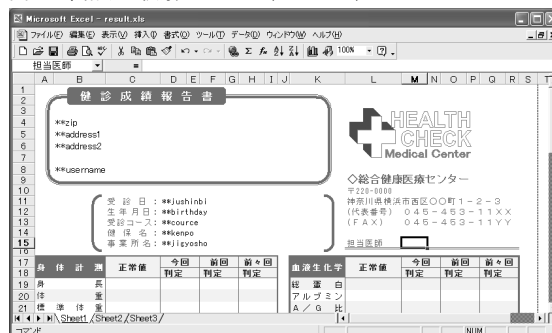
専用のプレビュー画面を制御するためのプロパティが提供されており、

- ・画面タイトルの変更
- ・各ボタンの表示/非表示
- ・最小化ボタンの有効化/無効化

- ・印字可能領域外の表示/非表示
 - ・余白境界線の表示/非表示
 - ・プレビュー画面表示時のページ指定
 - ・プレビュー画面表示時の倍率指定
 - ・出力用紙サイズ指定
- などが可能です。これにより、オリジナルのプレビュー画面の作成も簡単です。

このほか、デザインファイルは、プログラムの実行可能ファイル（exe）に組み込まず、Excelファイルのまま実行可能ファイルに関連付けることができるので、納品後にレイアウト変更があっても、Excelファイルを差し替えるだけで済み、リコンパイルが不要です。そのため、ちょっとしたレイアウト変

図2：準備する帳票デザイン（result.xls）



更であれば、エンドユーザーにもできます。

このように、多くの利点があるVB-Report .NETですが、残念なことにサーバーアプリケーションやWebアプリケーションには対応していません。Webアプリケーションなどで帳票作成支援ツールが必要なときは、別の選択肢を検討することになります。

なお、VB-Report .NETには、VB-Report .NETのActiveX版である「VB-Report Ver3.0」が同梱されており^[註1]、VB 5.0/6.0での開発が生じたときにも、迅速に対応することができます。

サンプルで利用する帳票デザイン

それでは、VB-Report .NETを使って簡単なサンプルプログラムを作ってみることにしましょう。VB-Report .NETでは、デザインファイルを用意せずに、プログラム内で新規に帳票を作成することもできますが、今回は図2のような健康診断の結果を出力する帳票を準備することにします。そして、各セルには、あらかじめ適切な書式が設定されているものとします。

“**zip”のように“**”で始まっているセルは、プログラムから値を設定するときの変数名になります。先頭キーワード (“**”の部分) は任意の文字に変えることができますが、ここではVB-Report .NETの既定のキーワード (**)

注1) VB-Report Ver3.0は、VB-Report .NETのパッケージ版にのみ同梱されています。ダウンロード版には含まれていません。